

中間試験

2002.11.26

【解答上の注意】

- ① 他の解答者の画面が見えないよう、互いに離れて座ること
- ② コンピュータで回答を書き、印刷して提出
- ③ 何を持ち込んで参照してもよいが、人に相談してはならない

問1 SPSS の使い方について、次の問に答えよ。

- (1) 「欠損値」とは何か。また SPSS ではどのような扱いになっているか。
- (2) 「ケース」とは何か。
- (3) Q44_3 という変数 (1 から 18 の値をとる) を適当な 3 つのカテゴリーにまとめて新しい変数 INC3 を作りたい。SPSS でこの操作をするときに必要なシンタックスを書け。

問2 次の対概念について、それぞれどういう違いがあるかを簡単に説明せよ。

- (1) 「実験」と「観察」
- (2) 「記述統計」と「推測統計」
- (3) 「順序尺度」と「間隔尺度」
- (4) 「ヒストグラム」と「棒グラフ」

問3 男性 246 人、女性 326 人を対象にしたある調査結果によると、カラオケによく行く者の率は男性では 76.0%、女性では 65.6%であった (欠損値はないものとする)。この結果に基づいて、次のようなクロス表を作成せよ (ただし%のところには行%を書くこと。小数 1 位まで)。

	よく行く	行かない	合計
男性	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
女性	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)
合計	人数 (%)	人数 (%)	人数 (%)

中間試験 解答例

2002.11.26

問 1 SPSS の使い方について、次の問に答えよ。

(1) 「欠損値」とは何か。また SPSS ではどのような扱いになっているか。

無回答などのために分析に入れられないケースに与える値。SPSS ではピリオド (.) であらわされる

(2) 「ケース」とは何か。

個々の調査対象者のこと

(3) Q44_3 という変数 (1 から 18 の値をとる) を適当な 3 つのカテゴリーにまとめて新しい変数 INC3 を作りたい。SPSS でこの操作をするときに必要なシンタックスを書け。

```
RECODE
  q44_3
  (1 thru 6=1) (7 thru 12=2) (13 thru 18=3) INTO INC3.

EXECUTE .
```

問 2 次の対概念について、それぞれどういう違いがあるかを簡単に説明せよ。

(1) 「実験」と「観察」

条件を人工的に統制するのが「実験」、しないのが「観察」

(2) 「記述統計」と「推測統計」

データの特性を要約して示すのが「記述統計」。
データに含まれる誤差を推測するのが「推測統計」

(3) 「順序尺度」と「間隔尺度」

「順序尺度」の値の配列には一定の順序があるが、値の和や差に意味はない。
「間隔尺度」の場合、値の和や差をとることに意味がある。

(4) 「ヒストグラム」と「棒グラフ」

ヒストグラム：柱の間隔をあげない、面積を読む
棒グラフ：棒の間隔をあげる、高さ (または長さ) を読む

問 3 男性 246 人、女性 326 人を対象にしたある調査結果によると、カラオケによく行く者の率は男性では 76.0%、女性では 65.6%であった (欠損値はないものとする)。この結果に基づいて、次のようなクロス表を作成せよ (ただし%のところには行%を書くこと。小数 1 位まで)。

	よく行く	行かない	合計
男性	187 (76.0)	59 (24.0)	246 (100.0)
女性	214 (65.6)	112 (34.4)	326 (100.0)
合計	401 (70.1)	171 (29.9)	572 (100.0)